

◆掲載内容のお問い合わせ◆

生駒市 商工観光課 観光振興室
受付時間：平日8:30～17:15
TEL:0743-74-1111 (代)
<https://www.city.ikoma.lg.jp/>

vol.127 生駒市



茶釜ゆかりの里
～生駒市へ行こう～



生駒市は、奈良県の北西部に位置して
いて、豊かな自然に恵まれたまちやで。
今日は、生駒市オススメの観光スポット
を紹介するで。



生駒市高山竹林園

生駒市高山竹林園には国指定の伝統工芸品である高山茶釜や、茶道具、編み針などの竹製品についての資料館があり、茶釜の製作実演の他、様々な体験教室も定期的に開催しています。待合や、茶室に入る前に手を清めるために設置された「つくばい」、露地庭などが美しい本格茶室である竹生庵や、枯山水の日本庭園を持つ和室も一般に開放されているので、日常からかけ離れた静けさの中、お茶をゆっくり楽しむ、豊かな時間を過ごすことができます。毎年10月上旬には、高山の秋の風物詩「高山竹あかり」が開催されます。



くろんど池



生駒市北部の高山町にある「くろんど池」周辺の山々とともに金剛生駒紀泉国定公園に指定され、その美しい景観は生駒八景のひとつに指定されています。ハイキングコース、レンタルe-bike、バーベキューやキャンプ、ボート、宿泊施設、展望台など楽しみ方が盛りだくさん。週末にはたくさんの人で賑わいます。

生駒山上遊園地

宝山寺駅で乗り換えて、山上の生駒山上遊園地へ。入園料無料で家族でのお出かけにもおすすめです。夏季にはナイター営業を行っているので、大人もビール片手に360度の夜景を楽しむことができます。

日本最古のケーブルカー

生駒山の中腹にある宝山寺までは、ケーブルカーで行くこともできます。この日本最古のケーブル線には、「ブル」、「ミケ」、「スイート」、「ドレミ」と呼ばれる楽しいデザインの車両が走っています。



宝山寺 (生駒聖天)

生駒駅近くから宝山寺まで続く石の階段。駅を出発してから約20分。一息ついて後ろを振り返ると、わずかに色づき始めている空と、灯りがつきはじめた市街を見渡せます。参道沿いには、眺望を楽しめるレストランや、旅館が並び、昔ながらの風情があります。宝山寺では、本尊の不動明王とともに、歓喜天にお参り。歓喜天は商売繁盛の神として、「生駒聖天さん」と呼ばれ親しまれています。特別公開期間には、国指定重要文化財である本格的明治建築の客殿「獅子閣」を拝観し、色ガラスなどをつかったお寺には珍しい洋風建築を楽しんでください。



獅子閣



参道の石段

生駒山麓公園

生駒山中腹に広がる金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然に囲まれた環境にあります。公園内にはキャンプ場や多種多様な施設・プログラムがあり、子どもから大人まで、1日中めいっぱい楽しむことができます。



暗峠 (くらがりとうげ)

「菊の香にくらがり登る節句かな」松尾芭蕉が暗峠でよんだ一句です。暗峠は、かつて大阪と奈良を最短距離で結んだ街道にある峠で、当時の面影をしのばせる石畳が今も数かかれており、日本の峠100選にも選ばれています。街道沿いには棚田と里山が広がっており、近くにあるカフェやレストランは、眺望も良く、遠方からも多くの方が訪れています。



いこま遊び体験

豊かな時間を、生駒で。
旅と暮らしを豊かにするアウトドア・グルメ・カルチャーなど、奈良県生駒市の体験プログラムを集めました。

近鉄生駒ケーブル☆キッズツアー

自然豊かな生駒山で、日本最古のケーブルカーの仕組みを学んでみよう！ケーブルカーの車掌や改札の体験、普段見られない運転席、ケーブルの巻き上げ機などを見学できます。

近畿日本鉄道株式会社

お子様向けの本格的な体験見学会！



酒蔵見学+「生」塩こうじ作り体験

酒蔵見学だけじゃない！上田酒造では、今話題の「生」塩こうじ作りも体験できてお料理好きの方も必見！試飲・お酒のお土産付です。

上田酒造株式会社

2024年12月5日、日本の伝統的造り
ユネスコ無形文化遺産に登録されました！



ボート遊びと野外手ぶらバーベキュー

くろんど池のほとりに位置するくろんど荘では、器材・食材全て込みの手ぶらBBQとボート遊びがセットになったお得なプランです！食材はBBQをしっかりと楽しめる牛肉・野菜・おにぎりセットです。

株式会社日タホールディングス くろんど荘

自然の中でバーベキューを楽しもう♪



◎体験についての詳細・お申込みは下記アドレスをチェック！
<http://www.ikoma-kankou.jp/taiken/>

■本ページのお問い合わせ先

近鉄ケーブルネットワーク株式会社
〒618 営業部
TEL : 0743-75-5662
平日 9:00 ~ 17:45

◆編集後記◆

今月のぐるっと奈良は、生駒市を特集しました。生駒市の伝統工芸品である高山茶釜の歴史は、今からなんと約500年前の室町時代にまでさかのぼります！高山茶釜は、国内茶釜のシェア90%以上を占めており、1つ1つ手作業で作られています。茶釜にはさまざまな種類があり、用途や茶道の流派によって竹の種類や形が異なります。今回ご紹介した高山竹林園では、茶釜の製作実演やお抹茶体験などが定期的に開催されています。美しい日本庭園を眺めながら自分で点てたお抹茶は特別感があります。みなさんもぜひ生駒市を訪れてみてください！